

平成 29 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立境港総合技術高等学校

校長 小澤 敏 正

| 評 価 日 | 平成 30 年 2 月 16 日 (金) | |
|--|---|--|
| 評 価 ・ 提 言 | 学校の所見・改善策等 | |
| <p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>①規律ある生活習慣の確立は、永遠のテーマである。普通を取組では改善は難しい面もあると思うが、粘り強く対応して欲しい。</p> <p>②地域との連携は、とてもよくやっている。公民館や諸施設との連携は大変素晴らしい。公民館でボランティアを募集するので、是非、協力して地域の活性化の一躍を担って欲しい。</p> <p>③見守り隊で地域を巡回しているが、挨拶も多くしてくれと感じている。大人も範を示すことが必要。</p> <p>(2) 説明・公表について</p> <p>①課題研究発表会で各科の特色を生かした取組を参観したが、誰に向けての発表なのかターゲットが明確でないと感じる。専門用語などがあるので第三者が聞いても分かるよう表現を工夫し、内容を充実させて欲しい。</p> <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>①たくさんの事業が行われ、多くの取組が新聞やテレビで報道されている。地域に根ざした専門高校として各事業を有効に使い、地域の活性化に貢献して欲しい。</p> <p>3. 取組改善のための提言</p> <p>①自分の専門だけでなく、他の分野を知ることは、社会に出てから役立つことが多い。各科、企業との連携は有意義な取組であるので、継続して充実した取組として欲しい。</p> <p>②資格所持者には資格手当を支給する企業も多い。資格を在学中にできるだけ多く取得できるよう指導して欲しい。</p> <p>③会社で厳しく指導されると落ち込み離職する者も少なくない。今のうちから教員は生徒に厳しく指導し、忍耐力を付けさせて欲しい。</p> | <p>①生徒の状況を把握し、全職員で目標達成に向けて取り組む。</p> <p>②地域との連携を更に深め、地域活動に貢献できる人材育成を推進する。</p> <p>③挨拶（静止礼・分離礼）を徹底し、心豊かで礼儀正しい人材を育成する。</p> <p>①地域や関係企業の方に多く参観いただき、学校への理解をより深めていただけるように、実施日や発表内容を検討する。</p> <p>①地域との連携や特色のある教育実践をメディアを通して発信し、学校教育の活性化を図る。</p> <p>①総合選択制のメリットを生かし、科連携を生かした教育を本校の強みにする。</p> <p>②1年次より資格取得の重要性を理解させ、将来に向けた目的意識を持たせる専門教科教育を行う。</p> <p>③学校教育全体をとおして、社会に順応できる人材を育成する。</p> | |